

# 愛知学院大学文学部博物館 2022 年度春季特別展

「公演プログラムで辿る文化交流：遠来の過客の面影を求めて」

その1 大正末期から 1950 年代まで

2022 年度文学部博物館 春季特別展担当

英語英米文化学科 松崎 博（アメリカ文化・文学）

2022 年 6 月 4 日（土）10:00~14:30

6 月 6 日（月）~10 日（金）10:00~16:00

日進キャンパス 3 号館 4 階（3 号館 1 階「丸善」斜め前のエレベーター利用）

## 展示の構成・主な内容

① 展示担当者の私的回想 1976-77：すべてはここから

メインの展示は次の①から始まります。

- ① 1925 年 日本のオーケストラ事始め、そしてジャズ・エイジ (Jazz Age)
- ② 帝国劇場の華やぎと興行主
- ③ 1937 年 世界的指揮者の初来日と戦争の時代、そして『白雪姫』
- ④ 1939-40 年 少年ヴァイオリニスト、紀元 2600 年そしてハリウッドの名作
- ⑤ ⑥ 来日公演の再開 その 1（ソリスト篇）その 2（1952 年 声楽家篇）
- ⑦ アフリカ系のアーティストたちの来日（1953-54 年）
- ⑧ 1955 年 マリアン・アンダーソン、メトロポリタン歌劇場の舞台に立つ
- ⑨ 1953 年 アイスショー、ジャン・マルティノン、アイザック・スターン
- ⑩ 「帝王」の座に上り詰めるカラヤン
- ⑪ 冷戦期の米ソの文化競争 クラシック音楽 VS ジャズ
- ⑫ 冷戦期の米ソの文化競争 舞踏篇
- ⑬ NHK イタリア歌劇団（1956-76 年）
- ⑭ 『ウエスト・サイド・ストーリー』製作開始からリメイク版映画まで

来年度は、今回の展示の続編が予定されています。高度成長期からバブル期が扱われる予定です。